



# 県立美術館に「ゲルニカ」 世界3枚、ピカソ監修タペストリー



設置が完了したゲルニカのタペストリー＝22日、大分市寿町の県立美術館、撮影・山戸孝哉

大分市寿町の県立美術館で開催中の「LINKSー大分と、世界と。」(大分合同新聞社共催)に23日から、パブロ・ピカソの「ゲルニカ」を原画としたタペストリーが登場する。県内での展示は初。6月22日まで。

22日、同館で一部作品の入れ替えがあり、縦328センチ、横680センチのタペストリーは巻かれた状態で運び込まれた。専門業者が慎重に広げた後、壁からつり下げ、威容な姿を現した。

原画は、ナチス・ドイツによるスペインの町ゲルニカへの無差別爆撃を描いた。戦争の非道を訴える傑作として知られる。タペストリーはピカソの監修・指示により、世界に3枚だけ作ることが許された。門外不出の原画に代わり、20世紀美術の巨匠のメッセージを伝える。

タペストリーを所蔵する群馬県立近代美術館の神尾玲子学芸次長は「この大きさと迫力から感じるところがあると思う。戦争についての展覧会で貸し出すことはあるが、日本人画家との関係という視点では初めて」と話した。

観覧料は一般1400円、高校・大学生1200円、中学生以下無料。

(木村真己)



〔問①〕 大分県立美術館で展示されるタペストリーの原画「ゲルニカ」を描いた画家は？

---

〔問②〕 展示されるタペストリーの大きさは？

---

〔問③〕 原画の「ゲルニカ」は何を描いたものですか？

---

〔問④〕 「ゲルニカ」は戦争の悲惨さをわたしたちに訴えかける絵画です。平和な世の中を築いていくためにどんなことができるのか、あなたの考えを書いてみましょう。

---